

学 校 だ よ り

蓮 沼 中 学 校

令和8年度 第4号

令和8年7月13日発行

大田区立蓮沼中学校

校 長 張替 健二

夏休みは自律的な力が試される

保護者の皆様、新年度が始まり、あっという間に4か月が過ぎ、1学期も終わりを迎えようとしています。この間、生徒たちは新しい学年や学級での生活に少しずつ慣れ、それぞれが大きく成長する姿を見せてくれました。

1年生は、中学校生活にもすっかり慣れ、4月当初の緊張した表情から一転し、校内には明るくはつらつとした笑い声が響くようになりました。授業や部活動にも意欲的に取り組み、仲間との関わりを深めながら学校生活を送っています。現在は、2学期に予定されている校外学習に向けて、学習を始め、自分たちで考えながら準備を進めています。2年生は、「昨年度から更にクラスメイトと仲良く過ごせている」という声を耳にします。新しい学級の中で安心して過ごせる環境が少しずつ築かれ、学習にも真剣に向き合う姿が増えてきています。現在は職場体験学習に向けて、自分たちで体験先を考え、主体的に準備を進めています。将来について考える貴重な機会となるよう、学校としても支援してまいります。3年生は、最高学年として学校を力強くリードしてくれました。運動会では、一人一人が役割を果たし、仲間と協力しながら素晴らしい行事をつくり上げました。その姿は下級生の良い手本となり、大変頼もしく感じました。現在は2学期の修学旅行に向けて、震災の学習などに取り組み、主体的に学びを進めています。I組は、特別支援学級合同移動教室を協力して無事に終え、その体験を日頃の学びに生かしています。

いよいよ夏休みを迎えます。生徒達には、長い休みだからこそ、普段できない体験に挑戦したり、ご家族との時間を大切にしたりするなど、有意義な時間を過ごしてほしいと願っています。一方で、生活リズムを整え、健康や安全にも十分気を付けながら過ごすことが大切です。学校でも、子どもたちが安心して夏休みを迎えられるよう、1学期最後まで丁寧な声掛けを続けてまいります。

生徒の皆さん、42日間の夏休みをどのように過ごしますか？学習や部活動、家族との旅行、地域での体験など、すでに計画を立てている人も多いことでしょう。夏休みは、普段の学校生活とは少し違います。毎日の時間割が決まっている学校生活とは異なり、自分で時間を管理し、自分で生活をつくっていく期間です。大人から細かく管理される時間が少ないからこそ、自分で考え、計画し、行動する自律した力が試されます。皆さんがこの42日間をどのように過ごすかで、夏休みの充実度は大きく変わります。

夏休みの計画を立てる時には、ぜひ「夏休みが終わる頃、どんな自分になっていたいか」を考えてみてください。受験を控えている3年生は、目標とする高校や模擬試験の結果を意識して学習を進めてみるのはいかがでしょうか。1・2年生も、苦手な教科に挑戦したり、本を読んだり、新しいことに挑戦したりすることで、大きく成長することができるよう。部活動で技術を磨くことや、普段は行かない場所へ出かけ、新しい景色や文化、人との出会いを経験することも、皆さんを成長させてくれる大切な学びになります。テクノロジーが発展している現代だからこそ、自然や文化・スポーツに触れたりする体験活動が、子供たちの成長に大きな影響を与えていると言われています。是非、夏休みにしかできない体験をしてください。

時間は誰にでも平等に与えられています。その時間をどのように使うかは、自分次第です。一日一日を大切に過ごし、「充実した夏休みだった」と胸を張って言える42日間にしてください。9月1日、ひと回り成長した皆さんが、元気な笑顔で登校してくることを楽しみにしています。思い出深い夏休みを過ごせる事を教職員一同、願っています。

文責 副校長 福守 久子

- ・学校公開への沢山のご参観ありがとうございました。アンケートを7月17日（金）まで受け付けております。ご回答を宜しく願いいたします。
- ・学校ホームページで、「蓮沼中学校日記」を始めました。随時更新いたしますので、ご覧ください。